

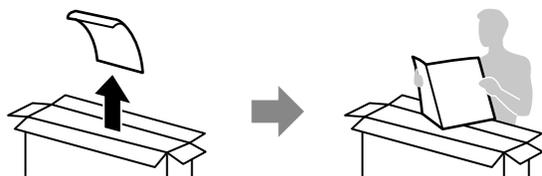


液晶モニター

取扱説明書

「組み立て／設置ガイド」

モニターのカートン(箱)上部にあります。



BRAVIA

警告 安全のために

電気製品は安全のための注意事項を守らないと火災や人身事故になることがあります。
この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

→ 26～31ページもあわせてお読みください。

モニターは正しく使用すれば、事故が起きないように、安全には充分配慮して設計されています。しかし、内部には電圧の高い部分があるので、間違った使いかたをすると、火災などにより死亡など人身事故になることがあり、危険です。事故を防ぐために次の事を必ずお守りください。



安全のための注意事項を守る

「安全のために」(26～31ページ)のご注意をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。

定期的に点検する

内部にほこりがたまったまま長い間掃除をしないと、火災や故障の原因となることがあります。湿気の多くなる梅雨期の前に掃除を行うと、より効果的です。

また、本機の通風孔付近にほこりが付着するときがありますが、付着がひどい場合、故障の原因となることがあります。掃除機などで1か月に1度、ほこりを吸い取ることをおすすめします。1年に1度は内部の掃除を、5年に1度は点検をお買い上げ店またはブラビア法人サポートデスクにご依頼ください(有料)。

故障したら使わない

すぐにお買い上げ店、またはブラビア法人サポートデスクに修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

- 煙が出たり、こげくさいにおいがしたら
- モニター内部から異常な音がしたら
- 内部に水などが入ったら
- 内部に異物が入ったら
- モニターを落としたり、キャビネットを破損したりしたときは



- ① 電源を切る
- ② 電源プラグをコンセントから抜く
- ③ お買い上げ店またはブラビア法人サポートデスクに修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。



この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなどの人身事故につながるがあります。



この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



火災



感電



注意

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止



ぬれ手禁止



風呂・シャワー室での使用禁止



接触禁止

行為を指示する記号



プラグをコンセントから抜く

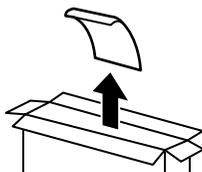
目次

準備 組み立て/設置ガイド..... (別紙)	
マニュアルについて.....	4
各部のなまえ	
各部のなまえ (本体ボタン/接続端子/リモコン).....	5
設定	
プロモード設定.....	9
画質/音質を好みに設定する.....	12
おすすめ設定.....	13
ネットワークにつなぐ	
ネットワークにつなぐ (インターネット).....	15
コントロール機能	
RS-232C.....	18
困ったときは	
故障かな?と思ったら.....	20
サポートページで最新の情報を調べる.....	24
保証書とアフターサービス.....	24
安全のために/その他	
安全のために.....	26
使用上のご注意/お手入れ.....	32
再設置.....	35
モニターを壁に取り付けて使う.....	35
転倒防止用ベルトを取り付ける.....	36
主な仕様.....	37
ソフトウェアに関する重要なお知らせ.....	39
索引.....	42

マニュアルについて

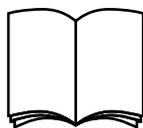
本機のマニュアルを紹介します。

組み立て/設置ガイド



モニターのカートン(箱)の上部にあります。
モニターの組み立てから、設置・接続して、電源を入れるまでを説明しています。

取扱説明書(本書)



モニターの基本的な使いかたを説明しています。
記載内容については、本書の目次をご覧ください。

壁掛けユニットSU-WL450/ SU-WL500 (別売)取付方法



壁掛けユニットSU-WL450/SU-WL500 (別売)の取り付け方法を説明しています。

ヒント

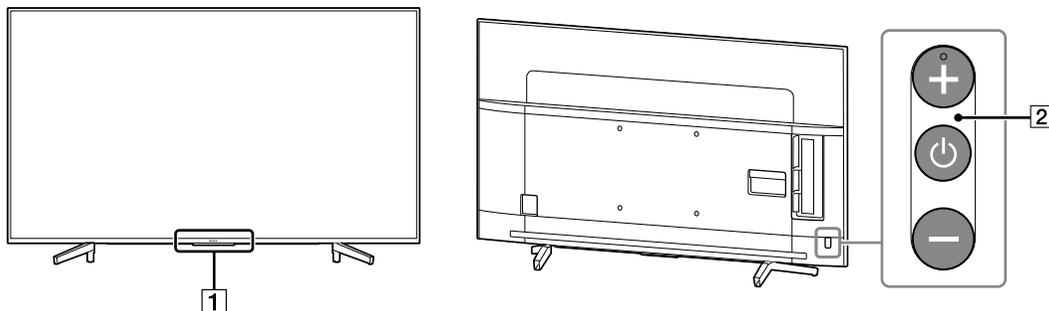
- マニュアル類は、下記のサポートサイトからもご覧いただけます。
<https://www.sony.jp/bravia-biz/support/>



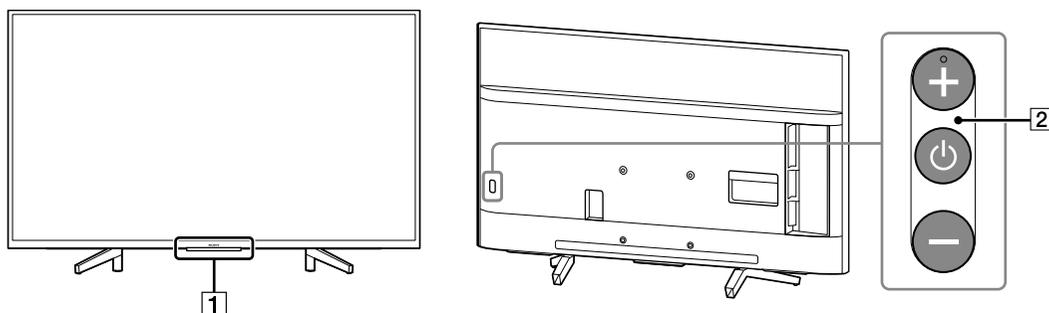
各部のなまえ (本体ボタン / 接続端子 / リモコン)

本体ボタン

■ FW-85/75/65/55BZ35F



■ FW-49/43BZ35F



① イルミネーションLED / リモコン受光部 / 明るさセンサー

イルミネーションLEDは、リモコンの操作に応じて点滅し、モニターの状態によって、以下のような色に点灯します。

- 白色
モニターの電源を入れたとき、ソフトウェアアップデート中、消画中
- 青色
モニターとモバイル機器(スマートフォンなど)がワイヤレスで接続されているとき
- オレンジ色
以下が動作中：
オンタイマー、スリープタイマー

ご注意

- イルミネーションLEDの付近にリモコン受光部や明るさセンサーがあるため、前に物を置かないでください。
- タイマーが設定されている状態を除き、モニターが電源スタンバイ時にはイルミネーションLEDは点灯しません。
- [イルミネーションLED]が[操作応答時のみ点灯]に設定されている場合、イルミネーションLEDは常時点灯せず、何か操作をしたときに点滅します。

② 電源、+ / - ボタン

電源を入れるときは電源ボタンを押し、電源を切るときは電源ボタンを長押しします。

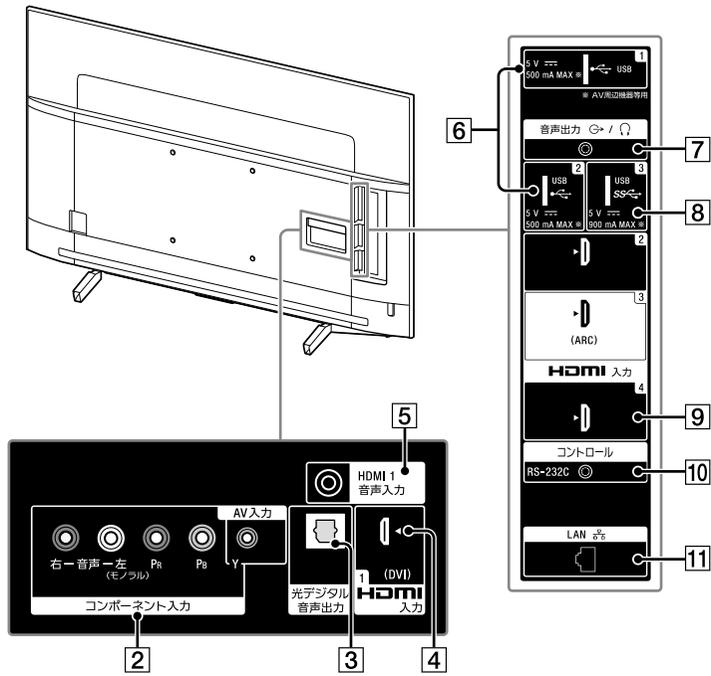
電源が入っているときは電源ボタンを押すたびに音量調節モード、チャンネル切換モード、入力切換モードの順に変わります。各モードは+ / - ボタンで操作できます。

ご注意

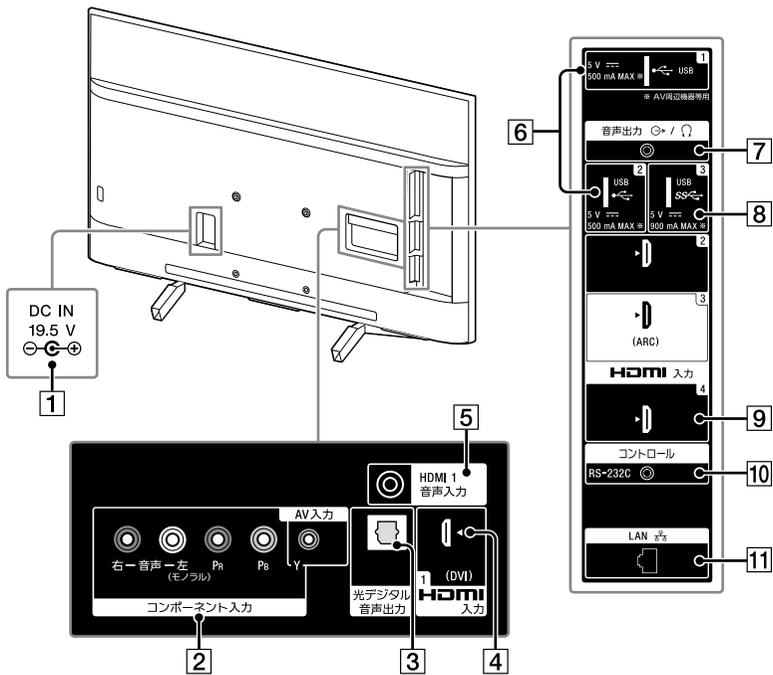
- 電源ボタンでは電源を完全に切ることはできません。電源を完全に切るには、電源プラグをコンセントから抜いてください。

接続端子

■ FW-85/75/65/55BZ35F



■ FW-49/43BZ35F



1 DC IN 19.5 V (FW-49/43BZ35Fのみ)

付属のACパワーアダプターをつなぎます。

2 AV入力端子(映像／音声)

録画機器やDVDプレーヤーなどの再生機器、およびセットトップボックスなどのビデオ出力端子につなぎます。モノラル音声出力につなぐときは、音声左(白色)端子につないでください。

コンポーネント入力端子(映像／音声)

映像入力端子：セットトップボックスや録画機器などの映像出力端子につなぎます。

音声入力端子：セットトップボックスや録画機器などの音声出力端子につなぎます。

3 光デジタル音声出力端子

別売の光デジタルケーブルでオーディオシステムやホームシアター機器などの光デジタル音声入力端子につなぎます。

4 HDMI1入力端子

パソコンや外部機器などのHDMI端子につなぎます。HDMI (High-Definition Multimedia Interface)は、デジタル映像・音声入出力インターフェイス規格です。HDMI端子のあるAV機器と接続できます。DVI端子搭載機器をつなぐときはHDMI1入力端子に接続してください。

5 HDMI1音声入力端子

HDMI1入力端子にDVI端子搭載機器をつなぐときは、音声ケーブル(別売)を使って本端子とDVI端子搭載機器のアナログ音声出力端子をつなぎます。

6 USB (USB) 1、2端子

デジタルカメラなどのUSB機器をつないで、写真／音楽／ビデオなどを楽しめます。USBハードディスク機器をつないでも録画はできません。

ご注意

- 大きなUSB機器を接続すると、他の接続した機器とぶつかることがあります。大きなUSB機器を接続する場合はUSB1端子をお使いください。

7 音声出力／端子

ヘッドホンをつなぎます。あるいは別売の音声ケーブルでオーディオ機器のアナログ音声入力端子につなぎます。

接続した機器にあわせて[設定]－[音質・音声設定]－[ヘッドホン・音声外部出力設定]を変更してください。

ご注意

- 音声出力／端子には3極のステレオミニプラグをつないでください。

8 USB (USB) 3端子

デジタルカメラなどのUSB機器をつないで、写真／音楽／ビデオなどを楽しめます。

ご注意

- 大きなUSB機器を接続すると、他の接続した機器とぶつかることがあります。大きなUSB機器を接続する場合はUSB1端子をお使いください。

9 HDMI2、3、4入力端子

パソコンや外部機器などのHDMI端子につなぎます。ARC (Audio Return Channel)に対応したオーディオシステムと接続する場合は、HDMI3入力端子をお使いください。ARCとは、HDMIケーブルを通して、モニターの音声をモニターのHDMI入力端子からオーディオシステムに送る機能です。オーディオシステムがARCに対応していない場合は、光デジタル音声出力との接続も必要です。

より高精細なHDMIフォーマット(4K 60p 4:4:4、4:2:2、または4K 60p 4:2:0 10ビットなど)で映像を表示する場合は、18 Gbpsに対応したプレミアムハイスピードHDMIケーブルをHDMI2/3入力端子につなぎ、[HDMI信号フォーマット]を[拡張フォーマット]に設定してください。

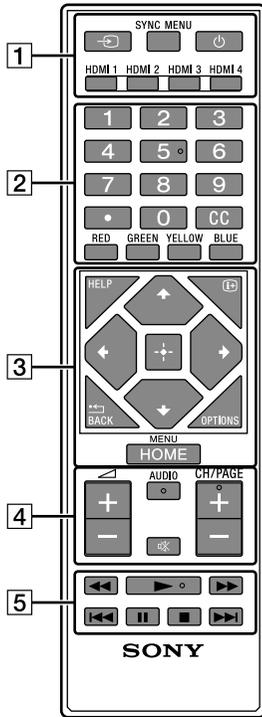
10 コントロール端子

シリアル通信用端子です。

詳しくは、コントロール機能の「RS-232C」(18ページ)をご覧ください。

11 LAN端子

別売のLANケーブルでモデムやルーターにつないで、モニターをネットワークに接続します。



1 ㊦ (入力切換)

モニターの入力一覧を表示します。繰り返し押し続けて入力を切り換えます。

SYNC MENU (シンクメニュー)

ブラビアリンクの画面を表示します。

⏻ (電源)

HDMI 1/2/3/4

HDMI入力に切り換えます。

2 数字ボタン

数字を入力するときに押します。

CC (字幕)

字幕を第一言語→第二言語→切の順に切り換えるときに押します。

ご注意

- 第二言語が運用されていない番組は第一言語と同じ字幕が表示されます。

カラーボタン (RED、GREEN、YELLOW、BLUE)

各色のボタンに対応する機能を選ぶときに押します。

3 HELP (ヘルプ)

ヘルプメニューを表示するときに押します。

⏪ BACK (戻る)

前の画面に戻ります。

ℹ (画面表示)

入力情報や時計などの表示／非表示を切り換えるときに押します。

OPTIONS (オプション)

そのときに利用できる機能の一覧を表示するときに押します。

⬆/⬇/⬅/➡、-♦-(決定)

⬆/⬇/⬅/➡ボタンで画面上の項目を選び、-♦-(決定)ボタンで選んだ項目を決定します。

HOME (ホーム)

ホームメニューを表示するときに押します。

4 ◀ (音量)+/ー

音量を調節するときに押します。

AUDIO (音声切換)

副音声に切り換えるときに押します。

🔇 (消音)

音を消したいときに押します。もう一度押すと、音声が出来ます。

CH/PAGE (チャンネル/ページ)+/ー

チャンネルやページを切り換えるときに押します。

5 ◀◀/▶▶/▶▶▶/◀◀◀/⏸/■/▶▶▶ (早戻し/再生/早送り/前/一時停止/停止/次)

ブラビアリンク対応の録画機器を操作するときに押します。

ご注意

- 状況に応じて使えるボタンは変わります。

ヒント

- ▶▶ (再生) ボタン、AUDIO (音声切換) ボタン、数字ボタンの [5]、CH/PAGE (チャンネル/ページ) + ボタンには凸点 (突起) が付いています。操作の目印としてお使いください。

プロモード設定

プロモードでは、プロフェッショナル用途としてお使いになる際に役立つさまざまな便利機能を利用できます。

ここではプロモードへの切り換え方法、プロモードの代表的な機能、設定方法を説明します。

モードの種類

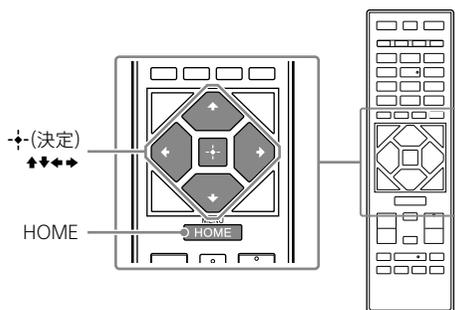
通常モード：デフォルトのモードです。プロモード機能はご利用いただけません。

プロ設定モード：プロモード機能の各種設定をするモードです。

プロモード：プロモード機能を利用できるプロフェッショナル向け運用モードです。

モードを切り換える

現在のモードが通常モードまたはプロ設定モードの場合



- 1 HOMEボタンを押す。
- 2 $\blacktriangleleft\blacktriangleright\blacktriangleleft\blacktriangleright$ ボタンで[Apps]を選び、 \blacklozenge (決定)ボタンを押す。
- 3 [Pro mode tool]を選び、 \blacklozenge (決定)ボタンを押す。
- 4 切り換えたいモードを選び、 \blacklozenge (決定)ボタンを押す。

プロモード機能

プロモードにはさまざまな便利機能があります。ここでは代表的な機能を紹介します。

プロモード機能の設定方法

- 1 プロ設定モード時に、リモコンのHOMEボタンを押して[プロ設定] (またはリモコンのHOMEボタンを押して[設定]→[プロ設定])から設定します*。

* 操作手順はOSのバージョンによって異なります。

AC起動時のモニター動作設定

ACプラグを抜き差ししたときの、モニターの起動設定ができます。

パソコン画面の最適化表示

パソコンのフォーマットに合わせた最適なサイズで表示します。

HDMI信号検出による電源制御と自動入力切替

HDMIで機器を接続しているときにモニターの電源をオンにすると、自動で接続したHDMI端子の入力に切り換えます。

HOMEボタン使用時の表示メニュー設定

リモコンのHOMEボタンを押したときの表示メニューを選べます。

モニター起動時の初期入力ソース指定

モニターを起動したときの、初期の入力ソースを指定できます。

プロモードの保護

プロモード設定をPINによって保護します。

初期音量・最大音量設定

モニターの初期音量と最大音量を設定できます。

リモコンによる本体キー操作の制限

リモコンによるモニターの操作を制限できます。

外部入力の制限

外部入力の利用を制限できます。

アプリケーションの利用制限

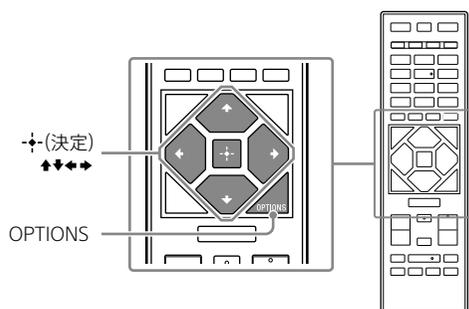
モニターのアプリケーション利用を制限できます。

ご注意

- ソフトウェアバージョンによって機能が変更になることがあります。詳しくは下記のWebページをご覧ください。
<https://www.sony.jp/bravia-biz/support/>

画質／音質を好みに設定する

画面が暗いと感じたり、色がおかしいと感じたら、画質を調整してください。



1 OPTIONSボタンを押す。

画面上部にメニューが表示されます。

2 上下左右ボタンで「画質」または「音質」を選び、-♦-(決定)ボタンを押す。



3 調整したい項目を選び、-♦-(決定)ボタンを押す。

例) 全体に画質を変更する場合
[画質モード]を選び、-♦-(決定)ボタンを押します。

4 好みの値を選び、-♦-(決定)ボタンを押す。

ヒント

- 画質は、HDMI入力、AV入力、コンポーネント入力などのそれぞれの入力で設定できます。

おすすめ設定

業務用途でご利用いただく際の、ソニーがおすすめする設定をご紹介します。

省エネ設定

- 1 リモコンのHOMEボタンを押し、[設定]－[電源]－[省エネ設定]を選ぶ。
- 2 [無操作電源オフ]を[切]にする。

自動ソフトウェアダウンロード

- 1 リモコンのHOMEボタンを押し、[設定]－[端末情報]－[システムアップデート]を選ぶ。
- 2 [ソフトウェア自動取得]を[切]にする。

画質設定

- 1 設定変更したい入力を選び(例：HDMI1)、リモコンのOPTIONSボタンを押し。
- 2 [画質と音声]－[画質]を選ぶ。
- 3 [明るさセンサー]を[切]にする。
- 4 [画質モード]を用途に合わせて選ぶ。
ダイナミック：デジタルサイネージを利用する場合
カスタム：オリジナルの映像をそのまま表示させたい場合
グラフィックス：パソコン画面を表示させる場合

画質モード設定値

プロフェッショナル向けの画質モードの各設定項目の初期値です。

項目	画質モード			
	ダイナミック	スタンダード	カスタム	グラフィックス*
明るさ	最大(50)	30	35	35
色の濃さ	60	60	50	50
コントラスト	最大(100)	最大(100)	90	90

* [グラフィックス]は[カスタム]に比べてレスポンスが早いので、パソコン画面操作時のマウスの動きなどをスムーズに表示できます。

ご注意

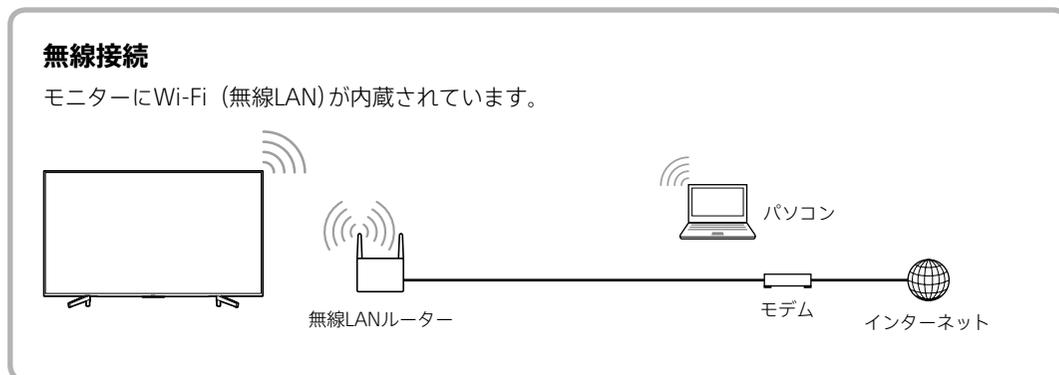
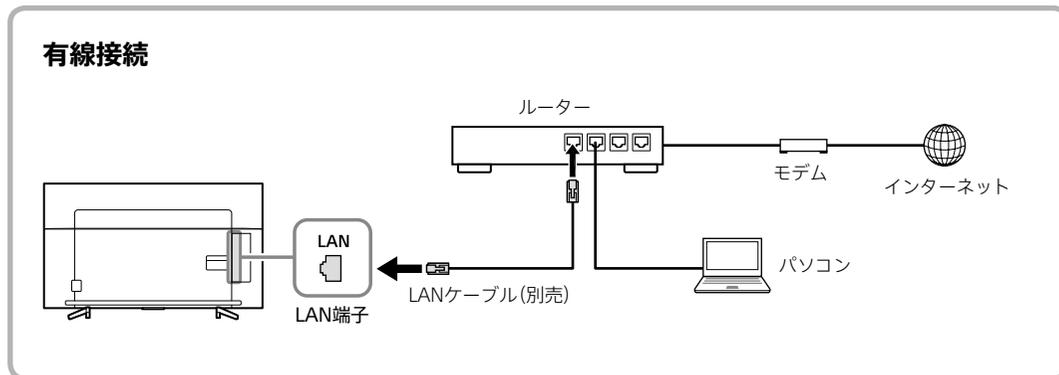
- 各設定値は予告なく変更されることがあります。

ネットワークにつなぐ(インターネット)

モニターをインターネットに接続するためには、あらかじめインターネットを使用できる環境が必要です。お使いのパソコンがインターネットに接続している場合、接続しているネットワーク環境にモニターを接続すると、モニターもインターネットに接続できます。

インターネット接続環境について詳しくは、ご利用の回線事業者やプロバイダーにお問い合わせください。

モニターをインターネットに接続する方法として、有線接続と無線接続があります。



ネットワークにつなぐ

1 必要なもの(別売)を準備する。

■ 有線接続

- カテゴリー 5 (CAT5)以上のLANケーブル(1本)
- ルーター (1台)

(ヒント)

- ルーター機能付きのモデムをお使いの場合は、ルーターを別途準備する必要はありません。モデムの仕様については、お使いの回線事業者にお問い合わせください。
- ルーターのLAN端子が空いていない場合は、LAN用ハブを準備してください。

■ 無線接続

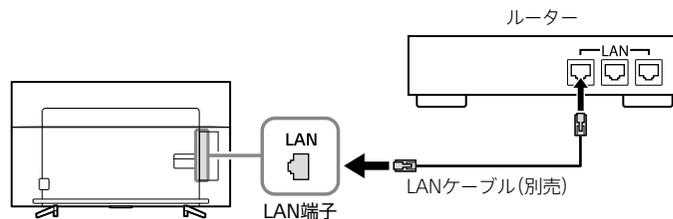
- 無線LANルーター (1台)

(ヒント)

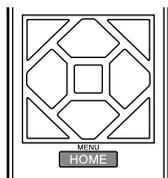
- 無線LANルーターにWPSボタンがない場合は、SSIDとセキュリティーキーを控えておいてください。
- AOSSボタンでWPSに対応している無線LANルーターもあります。
- セキュリティーキーの名称はメーカーによって異なります(「暗号化キー」、「暗号キー」、「KEY」、「ネットワークキー」、「パスワード」など)。

ルーターや無線LANルーターの設定については、ルーターの取扱説明書をご覧ください。ネットワークを設定した人(ネットワーク管理者)にお問い合わせください。

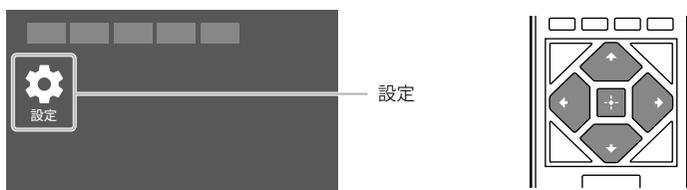
2 LANケーブル(別売)を、モニターのLAN端子とルーターのLAN端子につなぐ(有線接続のみ)。



3 リモコンのHOMEボタンを押す。



4

↕↔↔ボタンで[設定]を選び、-⚡-(決定)ボタンを押す。

5

[通信設定]を選び、-⚡-(決定)ボタンを押す。

6

[ネットワーク設定] – [かんたん設定]を順に選び、-⚡-(決定)ボタンを押す。

通常は[かんたん設定]を選びます。

IPアドレスやプロキシサーバー、SSIDなどを手動で設定する場合は、[高度な設定]を選んでください。

7

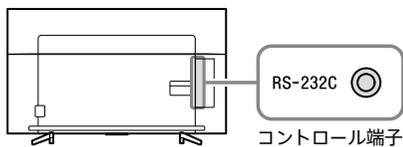
画面の指示に従って設定を完了させる。

ヒント

- 無線LANルーターの設定を変更できる場合は、802.11n (2.4 GHz帯)に設定してください。設定のしかたは、無線LANルーターの取扱説明書をご覧ください。ネットワークを設定した人(ネットワーク管理者)にお問い合わせください。
- ネットワークに接続できないときは、問題と対処の「インターネット」(23 ページ)をご覧ください。

RS-232C

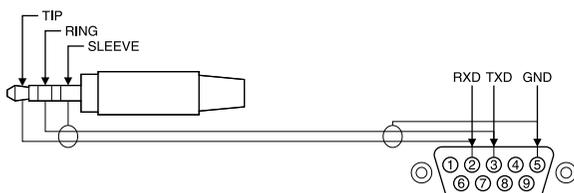
本機は、RS-232C経由で外部サービスと接続しコントロールすることができます。
ここではRS-232C接続について説明します。



インターフェース

3.5 mmステレオミニプラグを用いて、RS-232C接続を行います。

3.5 mmステレオミニプラグについて



TIP : モニター → コントローラー
RING : コントローラー → モニター
SLEEVE : GND

接続設定

RS-232C接続を行う際は、下記のように接続設定を行ってください。

ボー・レート	9600 bps
データ	8 bit
パリティ	None
スタートビット	1 bit
ストップビット	1 bit
フロー制御	None

データフォーマット

RS-232C通信を行う際のデータフォーマットです。

コントローラーからモニターへのリクエスト

No.	Item	Value
1	Header	0x8C: Control
2	Category	0x00 (fixed)
3	Function	0x00
4	Length	0xXX (=Data X+1 byte)
5	Data 1	0xXX
:	:	0xXX
:	:	0xXX
X+4	Data X	0xXX
X+5	Check Sum	0xXX

モニターからコントローラーへのレスポンス

No.	Item	Value
1	Header	0x70: Answer
2	Answer	0x00: Completed (Normal End)
		0x01: Limit Over (Abnormal End-Exceed maximum value)
		0x02: Limit Over (Abnormal End-Exceed minimum value)
		0x03: Command Canceled (Abnormal end)
		0x04: Parse Error (Data Format Error)
3	Check Sum	0xXX

コマンド例

RS-232C通信のコマンド例です。

Control	Head	Category	Function	Length		Checksum
電源のオン/オフ	0x8C	0x00	0x00	0x02	0x00 (off)	0x8E
					0x01 (on)	0x8F
HDMI入力選択	0x8C	0x00	0x02	0x03	0x04(HDMI)	0x01 (#1) 0x96
						0x02 (#2) 0x97
						0x03 (#3) 0x98
						0x04 (#4) 0x99

RS-232Cについて詳しくは、下記のWebページをご覧ください。

<https://www.sony.jp/bravia-biz/support/>

故障かな？と思ったら

モニターをご使用中にトラブルが発生したり、調べたいことがある場合は、ブラビア法人サポートデスクにご相談になる前に、もう一度下記の流れに従ってチェックしてみてください。メッセージなどが表示される場合は、書き留めておくことをおすすめします。

1 モニター本体をリセット(再起動)する

- ① リモコンの電源ボタンを、「電源を切る」とメッセージが画面に表示されるまで(約5秒間)押し続ける。
- ② 画面に「電源を切る」と表示されたら、電源ボタンから指を離す。
- ③ モニターの電源が切れ、自動で電源が入るまで1分程度待つ。
それでも解決しないときは、モニターの電源プラグを抜き、約2分後に再度つないでみてください。

2 ソフトウェアの更新をする(インターネットにつながっている場合)

HELPボタンを押して、[システムソフトウェアの更新]→[システムソフトウェアの更新データを確認]を選び、ソフトウェアを更新します。

3 本書やヘルプで調べる

本書の「故障かな？と思ったら」をチェックし、該当する項目を調べます。見つからないときは、HELPボタンを押して、[困ったときは]を選び、該当する項目を調べます。

4 モニターの診断機能で調べる

HELPボタンを押して、[問題を解決する]または[問題の原因分析]で該当する項目を調べます。

5 サポートページで調べる

ブラビア サポートページ
<https://www.sony.jp/bravia-biz/support/>
最新のサポート情報や、よくあるお問い合わせとその回答を調べます。

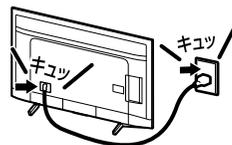
6 それでも解決しないときは(裏表紙)

ブラビア法人サポートデスクへご相談ください。

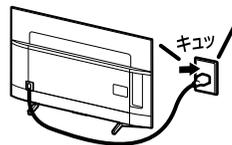
まず確認してください

電源コードがゆるんでいませんか？
しっかりつないでください。

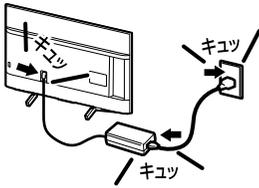
■ FW-85BZ35F



■ FW-75/65/55BZ35F



■ FW-49/43BZ35F



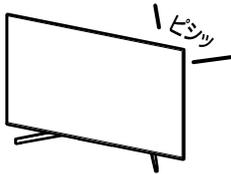
こんな場合は故障ではありません

画面に光る点、または光らない点がある。
液晶モニターの映像は、微細な画素の集合です。画面の一部に画素欠けや輝点が存在する場合があります。



輝点・滅点

「ピシッ」というきしみ音が出る。
電源を入れているかどうかに関わらず、周囲との温度差でキャビネットが伸縮し、「ピシッ」という音が出る場合があります。



電源を入れたときや電源スタンバイ時に「カチッ」と音がする。
電源を入れたときは、内部の回路が働くため音がします。また、電源スタンバイ時は、データ受信のためにモニターの電源が自動的に入り、音がすることがあります。モニター前面のイルミネーションLEDが点滅しますが故障ではありません。



電源が入らなくなった／画面や音が出なくなった／リモコンや機能が使えなくなった。
何らかの原因により、モニターが一時的に誤動作を起こしている可能性があります。リモコンの電源ボタンを5秒以上長く押し、電源を入れ直してください。それでも解決しないときはモニターの電源プラグを抜き、約2分後に再度つないでから、本体の電源ボタンで電源を入れてください。

- 電源コードをつないだとき、システムの初期化に時間がかかるため、しばらくの間本体ボタン、リモコンで電源操作ができないことがあります。その場合1分程度待ってから操作してください。
- リモコン、本体ボタンで電源を入れたとき、イルミネーションLEDが点灯し、リモコン操作ができるようになるまで、しばらく時間がかかります。



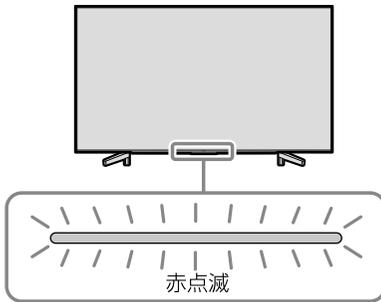
困ったときは

問題と対処

画面／画像

画面や音が出ない／リモコンや機能が使えない／イルミネーションLEDが赤色に点滅する。

- 画面が消え、モニター前面のイルミネーションLEDが赤色に点滅するときは、モニターの自己診断機能により、モニターに何らかの異常が起きている可能性があります。モニターの電源プラグを抜き、約2分後に再度つないでから、本体の電源ボタンで電源を入れてください。イルミネーションLEDの点滅が続く場合は、点滅回数をご確認のうえ、ブラビア法人サポートデスク(裏表紙)にお問い合わせください。点滅はおおよそ3秒おきに繰り返します。たとえば、2回点滅→3秒あき→2回点滅... この場合の点滅回数は2回です。



画面が白くなる。

- 画面表示ボタンやHOMEボタンを押して、時計の時刻が合っているか確認してください。時刻が合っていないときは、HOMEボタンを押して、[設定]－[日付と時刻]－[日付と時刻の自動設定]を[ネットワークの時刻と同期]に設定してください。

画面が暗い。

- 画面の明るさは、画質設定によって異なります。画面を明るい設定にするには、視聴中メニューボタンを押して、[画面と音声]－[画質]を選び、[画質モード]を[ダイナミック]に設定してください。

映像が引き伸ばされて映る。または画面サイズが小さい。

- [オートワイド]が無効に設定されていませんか。[オートワイド]は映像に適した画面サイズを自動的に判断します。HOMEボタンを押して、[設定]－[画質・映像設定]－[画面モード]を選び、[オートワイド]の設定が有効になっているか確認してください。それでも改善しない場合は、視聴中メニューボタンを押して[ワイド切換]を選んでください。

音声

画像は出るが、音が出ない。

- 音量が下がりきっていないか確認してください。
- リモコンの消音ボタンまたは音量+ボタンを押してください。
- HOMEボタンを押して、[設定]－[音質・音声設定]－[スピーカー出力]を[テレビスピーカー]に設定してください。

接続機器

つないだ機器の画像が表示されない。

- つないだ機器の電源が入っているか確認してください。
- 接続ケーブルの端子部分がしっかりと接続端子に差し込まれているか確認してください。
- リモコンの(入力切換)ボタンを押して、つないだ機器の入力を選んでいるか確認してください。

リモコン

リモコンでモニターを操作できない。

- 電池切れの可能性があります。リモコンの電池を交換してください。電池の+／-を正しい向きに合わせて、一極側から電池を入れてください。
- モニター以外の接続機器が操作されてしまう場合は、ブラビアリンク対応機器の操作をする設定になっている可能性があります。HOMEボタンを押し、モニターを操作してください。
- リモコンの代わりにモニター背面のボタンで操作してください(5 ページ)。

操作したくないモニターも一緒に動いてしまう。

- モニターの前面にあるリモコン受光部は、同じ種類の赤外線リモコンからの信号を受け取るため、2台以上のモニターが同じ方向を向いていると、同時に動作してしまう場合があります。
モニターの向きを変えたり、リモコンを操作する向きや場所を変えて改善されるかご確認ください。

インターネット

インターネットに接続できない。

- LANケーブルやネットワーク機器の電源コードが外れていないか確認してください。
- 本機と無線LANルーターの設置場所を確認してください。電波状況の影響を受けている可能性があります。
 - 他の無線機器や電子レンジ、蛍光灯から離してください。
 - 無線LANルーターと本機の間には床や壁がない状態にしてください。
 - 前述の対処を行っても正常に動作しない場合は有線LAN接続をおすすめします。
- <ネットワーク設定の接続診断結果で、有線(無線)LAN接続：成功、ローカル接続：成功、インターネット接続：失敗の場合>
ルーター(ブロードバンドルーター)でプロバイダーの設定(PPPoE)がされていない可能性があります。ルーターでの設定方法については、ルーターの取扱説明書やホームページをご覧ください。プロバイダーへ接続するための情報(アカウント名や、パスワードなど)が不明な場合は、プロバイダーにお問い合わせください。
- <ネットワーク設定の接続診断結果で、有線(無線)LAN接続：成功、ローカル接続：失敗、インターネット接続：失敗の場合>
ルーター機能が「切」になっている場合があります。ルーター本体の「ルーター機能スイッチ」が「切」になっている場合は、「入」にして改善するかご確認ください。セキュリティーキー(WPAキー)を手動で入力されている場合は、入力した内容が誤っている可能性があります。再度入力しなおしてください。SSIDを手動で入力されている場合は、入力した内容が誤っている可能性があります。再度入力してみてください。セキュリティーキー、SSIDがわからない場合はルーターの取扱説明書やホームページをご覧ください。メーカーへお問い合わせください。

- <ネットワーク設定の接続診断結果で、無線LAN機器：切、ローカル接続：失敗、インターネット接続：失敗の場合>
[内蔵Wi-Fi]を有効に設定してください。
- <ネットワーク設定の接続診断結果で、有線(無線)LAN接続：失敗(認識しません)、ローカル接続：失敗、インターネット接続：失敗の場合>
有線の場合は、LANケーブルの接続を確認してください。無線の場合はモニターの電源プラグを抜き、しばらく時間をおいてから再度つなぎ、本体の電源ボタンで電源を入れてください。

接続したい無線LANルーターのSSIDが表示されない。

- 無線LANルーターの電源を入れ直してください。
- 本機は5 GHz帯には対応していません。2.4 GHz帯の無線LANルーターをご使用ください。

その他

本機の周辺が熱い。

- 長時間使用したときなどに、本機の正面や背面、上部、底部が熱くなり、手で触れると熱く感じることもありますが異常ではありません。

サポートページで最新の情報を調べる

インターネットにつながっているパソコンやスマートフォンなどを使って、モニターの最新情報や困ったときの解決方法をブラビア サポートページで調べることができます。

1 インターネットにつながっているパソコンやスマートフォンなどで、ブラウザのアドレス欄に下記のURLを入力する。

ブラビア サポートページでは以下の情報を見ることができます。

<https://www.sony.jp/bravia-biz/support/>

- 困ったときは(Q&A)
- ソフトウェアの更新情報
- 他機器との接続情報
- 使いかたの詳しい説明



保証書とアフターサービス

本機は日本国内専用です。電源電圧の異なる海外ではお使いになれません。

保証書について

- この製品は保証書が添付されていますので、お買い上げの際、お買い上げの店からお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- 本機のメモリーに保存されたデータは、保証の対象外です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

「故障かな?と思ったら」の項を参考にして、故障かどうかをお調べください。

それでも具合が悪いときはブラビア法人サポートデスクへ裏表紙にあるブラビア法人サポートデスクへお問い合わせください。

部品の交換について

この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。

詳しくは、保証書をご覧ください。

何らかの原因でコンテンツが外部メディアや外部記録機器(“メモリースティック”、デジタルレコーディングハードディスクドライブなど)に記録できなかった場合や、外部メディア・外部記録機器に記録されたコンテンツが破損または消去された場合など、いかなる場合においてもコンテンツの補償およびそれに付随するあらゆる損害について、当社は一切責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社では、モニターの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後8年間保有しています。

ただし、故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。

ご相談になるときは次のことをお知らせください。

型名： FW-85BZ35F FW-75BZ35F
 FW-65BZ35F FW-55BZ35F
 FW-49BZ35F FW-43BZ35F

故障の状態：できるだけ詳しく

購入年月日：

本機の型名、シリアルナンバーおよび定格は、本機背面に記載されています。

ACパワーアダプターの機種名とシリアルナンバーはACパワーアダプターの底面に表示されています。

お買い上げ店

TEL.

This LCD Monitor is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

安全のために



下記の注意を守らないと**火災・感電・破裂**により**死亡や大けが**などの人身事故が生じます。

壁に取り付ける場合は、必ず専用の壁掛けユニットを使用し、専門の業者に取付けてもらう。また、設置の時は設置関係者以外近づかない

- 専門業者以外の人が取付けたり、壁への取付けが不適切だと、本機が落下するなどして、打撲や骨折など大けがの原因となることがあります。
- 強度の弱い壁や、平面ではなかったり垂直ではない壁に取り付けた場合、壁掛けユニットの落下によるけがや破損の原因となります。壁は、少なくともモニターの質量の4倍に耐えられる強度が必要です。(モニターの質量は、37ページをご覧ください。)
- 壁への取付けがもろい場合、壁掛けユニットの落下によるけがや破損の原因となります。



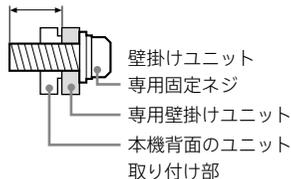
禁止

次のことを守って、壁掛けユニットに本機を設置する

誤った取付け方で設置すると、本機が落下し、大けがをすることがあります。

- 壁掛けユニットの取扱説明書の取付け方を必ず守る。
- 壁掛けユニットの取付けに際しては、壁掛けユニットに同梱されている専用固定ネジを使う。専用固定ネジは、取付金具の取付け面からの長さが図のように設定されています(壁掛けユニットによってネジの長さは異なります)。専用固定ネジ以外のネジを使用すると、落下や本機内部の破損の原因となります。

8 mm - 12 mm (FW-43/49/85BZ35F)
10 mm - 13 mm (FW-55/65/75BZ35F)



次のことを守って、スタンドを本機に設置する

本機を不安定な場所に設置しないでください。本機が落下し、大けがまたは死亡の原因となります。

大けがを避けるため、以下のことを守って本機を設置してください。

- ソニーが推奨するキャビネット、またはスタンドを使用する。
 - 本機を安全に設置できるモニター台のみ使用する。
 - 本機を設置する際、モニター台の端からスタンドがはみ出していないか確かめる。
 - 転倒防止の処置を必ず行う。転倒防止の処置をしないと、本機が倒れてけがの原因となることがあります。スタンドや床、壁などと本機の間、適切な転倒防止の処置を行ってください。
 - 固定されていない背の高い家具(例えば、食器棚や本棚)に本機を置かない。
 - 本機とモニター台の間に布などを敷かない。
 - お子さまをモニター台に登らせない。
 - お子さまを本機に近づけない。
- 本機を保管、再設置する場合にも上記のことを必ず守ってください。

本機を医療機関に設置しない

医療機器の誤動作の原因となることがあります。



禁止

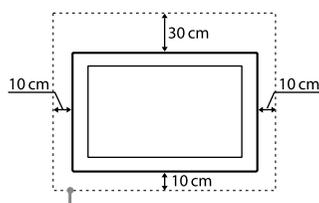


下記の注意を守らないと**火災・感電**により**死亡や大けが**の原因となります。

周囲に間隔を空ける

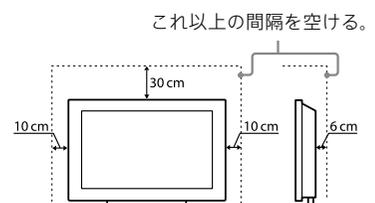
周囲に間隔を空けずに設置すると、通風孔がふさがり熱が内部にこもり、火災や故障の原因となります。本機を壁に近づけすぎると、壁などにほこりが付着し、黒くなることがあります。風通しをよくするために、壁から距離を離して置いてください。

壁に取り付けるとき



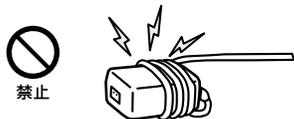
これ以上の間隔を空ける。

スタンドを使用するとき



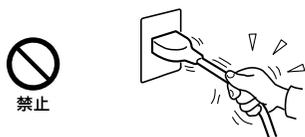
ACパワーアダプターのコード
や電源コードをACパワーア
ダプターに巻き付けない
(FW-49/43BZ35Fのみ)

断線や故障の原因となることがあります。



電源コードを引っ張らない

電源プラグを抜くときは、電源コードを
引っ張らないでください。コードに傷が付
き、火災や感電の原因となることがありま
す。必ずプラグを持って抜いてください。



雷が鳴りだしたら電源プラグ に触れない

感電の原因となります。



使用

本機にぶらさがらない

本機が壁からはずれたり、倒れたりして、本
機の下敷きになり、大けがの原因となるこ
とがあります。



内部に水や異物を入れない
本機の上に熱器具、花瓶など
液体が入ったものやローソク
を置かない
液晶画面や本機の背面など機
器全体に直接水や洗剤を
かけない

内部に水や異物が入ると火災の原因とな
ります。万一、水や異物が入った場合は、す
ぐに本体の電源スイッチを切り、電源プラ
グをコンセントから抜いて、お買い上げ店
またはブラビア法人サポートデスクにご依
頼ください。



分解や改造をしない

内部には電圧の高い部分があり、裏ぶたを
開けたり改造したりすると、火災や感電の
原因となります。
内部の点検や修理はお買い上げ店または
ブラビア法人サポートデスクにご依頼くだ
さい。



リモコン及び電池の取り扱い について

- 直射日光が当たるところ、火や暖房器具
のそばや湿度が高いところには置か
ないでください。
- 落としたり、踏みつけたり、中に液体を
こぼしたりしないよう、ていねいに扱
ってください。

本機の表面が割れたときは、
電源プラグをコンセントから
抜くまで本機に触れない

電源プラグをコンセントから抜かず
に本機に触れると、感電の原因となることが
あります。



目や口に液晶を入れない／ガ
ラスの破片に触れない

液晶パネルが破損すると、破損した部分か
ら液晶(液状)が漏れたり、ガラスの破片が
飛び散ることがあります。この液晶やガラ
スの破片に素手で触れたり、口に入れたり
しないでください。ガラスの破片に触れる
とけがをするおそれがあります。
また、漏れた液晶に素手で触れると中毒や
かぶれの原因となります。においを嗅ぐこ
ともやめてください。誤って、目や口に入
ったときは、すぐに水で洗い流し、医師にご相
談ください。



モニター以外の荷重を掛けない

落下によるけがや破損の原因となることが
あります。



移動、設置

正しい方法で運搬／移動する

- 誤った方法で運搬したり移動したりす
ると、本機が落下し、打撲や骨折をし
たり、大けがをすることがあります。
本機を持ち運ぶ際には、取扱説明書
を参照の上、正しい方法で行ってくだ
さい。
- 本機を運ぶときは、本機に接続されて
いる電源プラグやケーブルなどをすべ
てはずしてください。電源プラグを差
込んだまま移動させると、電源コード
が傷つき、火災や感電の原因となるこ
とがあります。



プラグをコン
セントから抜く

使用・設置場所について

電源コンセントに容易に手が届く場所に置き、何か異常が起こったときは、すぐに電源プラグを抜くようにしてください。暗すぎる部屋は目を疲れさせるのでよくありません。適度の明るさの中でご覧ください。また、連続して長い時間、画面を見ていることも目を疲れさせます。

人がぶつかりやすい場所に置かない

不安定な場所に置かない

本機の底面よりも、広くて水平で丈夫な場所に置いてください。ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、本機が落ちたり倒れたりしてけがの原因となります。平らで十分に強度があり、落下しない所に置いてください。モニターが落下し、大けがまたは死亡の原因となる可能性があります。



水のある場所に置かない

水が入ったり、ぬれたり、風呂場で使うと、火災や感電の原因となります。雨天や降雪中の窓際でのご使用には特にご注意ください。銭湯や温泉の脱衣所などに設置すると、温泉に含まれる硫黄などにより本機が故障したりします。



風呂・シャワー室での使用禁止



湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や、虫の入りやすい場所、直射日光が当たる場所、熱器具の近くに置かない

湿気、ほこりの多いところ、油煙や湿気が当たるようなところ（調理台や加湿器のそば）におかないでください。火災・感電・変形などの原因となることがあります。



乗物の中や船舶の中などで使用しない

移動中の振動により、本機が転倒したり落下したりして、けがの原因となることがあります。塩水をかぶると、発火や故障の原因となることがあります。



可動式の台に設置しない

移動中の振動により、本機が転倒したり落下したりして、けがの原因となることがあります。

屋外や窓際で使用しない

雨水などにさらされ、火災や感電の原因となることがあります。また、直射日光を受けると、本機が熱を持ち、故障することがあります。海辺や砂地、あるいは砂ぼこりが起こる場所などでは、砂がかからないようにしてください。故障の原因になるばかりか、修理できなくなることがあります。



壁掛け設置

モニターがはみ出すような取り付けはしない

壁掛けユニットを、柱などのモニターがはみ出してしまうような場所には取り付けないでください。身体や物などがぶつかってけがや破損の原因となります。



モニターを取り付けたあとはネジなどをはずさない

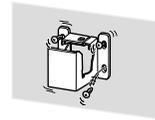
モニターが落ちて、けがや破損の原因となります。

エアコンの上や下にはモニターを取り付けない

送風などで直接、風が当たり続けたり、水もれによってぬれたりすると、火災や感電、故障の原因となることがあります。

取り付け手順に従って、しっかり取り付ける

ネジがゆるんでいたたり抜けていたりすると、壁掛けユニットが落下して、けがや破損の原因となります。壁の材質に合ったネジ（必要本数以上）で、しっかりと固定してください。



取扱説明書の説明に従って、付属のネジと取り付け金具を使う

付属品を使わずに代替品を使用して取り付けたら、壁掛けユニットが落下して、けがや破損の原因となります。

組み立て手順に従って、正しく組み立てる

ネジがゆるんでいたたり、抜けていたりすると、落下によるけがや破損の原因となることがあります。

ネジは指定された位置にしっかりと締め付ける

モニターが落下して、けがの原因となることがあります。

取り付け作業中にモニターに衝撃を与えない

モニターが落下したり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。

垂直で平らな壁面にモニターを取り付ける

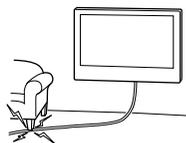
垂直ではなかったり、平らではない壁面に取り付けると、モニターが落下して、けがの原因となります。

取り付け作業が適切に完了したら、ケーブル類を固定する

ケーブル類を足に引っ掛けたりすると、けがをしたり、モニターを破損したりすることがあります。

電源コードおよび接続ケーブルをはさまないようにする

電源コードおよび接続ケーブルを壁面にはさんだり、無理に曲げたり、ねじったりすると、芯線が露出したり、ショート、断線して、火災や感電の原因となります。



壁の材質や構造に適したネジを使う

壁掛けユニットを壁面に固定するネジを付属していません。壁の材質や構造に適したネジをご準備ください。

本機を床に垂直に設置し固定する

本機を傾けた状態で設置すると、モニターが落下して、けがや破損の原因となります。



下記の注意を守らないとけがをしたり周辺の**家財に損害**を与えたりすることがあります。

旅行などで長期間、ご使用にならないときは、電源プラグを抜く

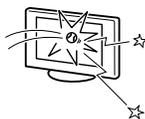
本機を長時間使用しないときは、安全のため、必ず電源プラグを抜いてください。本機は電源スイッチを切っただけでは、完全に電源からは切り離されておらず、常に微弱な電流が流れています。完全に電源から切り離すためには電源プラグをコンセントから抜く必要があります。コンセントは製品の設置場所に一番近く、抜き差しがしやすい場所を選んでください。



プラグをコンセントから抜く

液晶画面の表面に物をぶつけない

ガラスが割れ、飛び散ったガラスにより、けがの原因となります。



液晶画面の外周に衝撃を与えない

ガラスの縁にヒビが入ったり、飛び散ったガラスにより、ケガの原因となります。



音量について

周辺の人の迷惑とならないよう適度の音量でお楽しみください。特に、夜間での音量は小さい音でも通りやすいので、窓を閉めたりヘッドホンを使用したりして、隣近所への配慮を充分にし、生活環境を守りましょう。

ヘッドホンをご使用のときは、耳をあまり刺激しないよう、適度な音量でお楽しみください。耳を刺激するような大きな音で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。耳鳴りがするような場合は、音量を下げるか、使用を中止してください。

また、ヘッドホンをつけたまま眠ってしまうと危険です。呼びかけられて返事ができるくらいの音量で聞きましょう。



人が通行するような場所に置かない

コード類は正しく配置する

電源コードや信号ケーブルは、足に引っかけると製品の落下や転倒などによりけがの原因となることがあります。

人が踏んだり、引っ掛けたりするような恐れのある場所を避け、充分注意して接続・配置してください。



掃除やお手入れのときは、力をかけない

掃除やお手入れのときに、モニターの上面に手を置いたり、力をかけたりしないでください。モニターの落下によるけがや破損の原因となります。

リモコンによる遠隔操作について

無線リモコン、またはVideo & TV SideViewなどのアプリを搭載したスマートフォン／タブレットのリモコン機能による遠隔操作は、本機が見える位置からのみ行ってください。

乾電池についての安全上のご注意

漏液、発熱、発火、破裂などを避けるため、下記のことを必ずお守りください。

危険

- 電池を直射日光、火のそばなどの高温になる場所や、極端に低い気圧になる場所に置かないでください。
爆発、液漏れ、ガス漏れする可能性があります。

警告

- 火の中に入れてない。ショートさせたり、分解、加熱しない。
- 充電しない。
- ＋と－の向きを正しく入れる。
- 電池を使いきったとき、長時間使用しないときは、取り出しておく。
- 新しい電池と使用した電池、種類の違う電池を混ぜて使わない。
- 指定された種類の電池以外使用しない。誤った型式の電池を使用すると、爆発する可能性があります。

注意

- 指定された種類の電池を使用する。
- 廃棄の際は、地方自治体の条例または規則に従ってください。

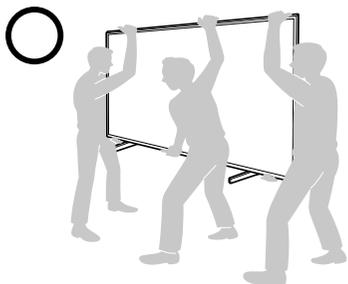
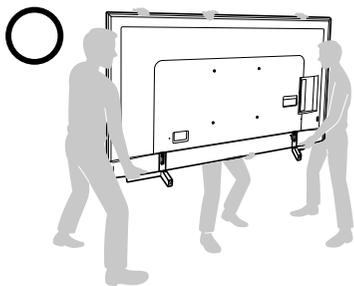
もし電池の液が漏れたときは、リモコンの電池入れの液をよくふきとってから、新しい電池を入れてください。万一、液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

使用上のご注意／お手入れ

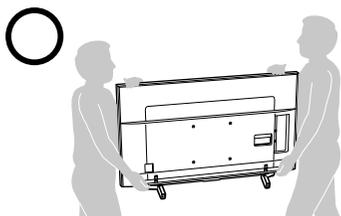
運搬／設置について

- 大型モニターは重いので、開梱や持ち運びは必ず2人以上 (FW-85BZ35Fは3人以上)で行ってください。
モニターの底面を持つときは、イラストのようにしっかりと持ってください。

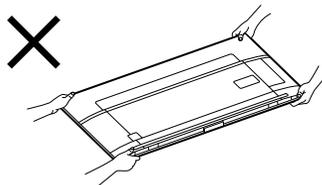
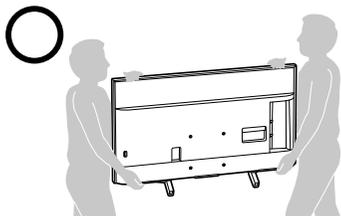
■ FW-85BZ35F



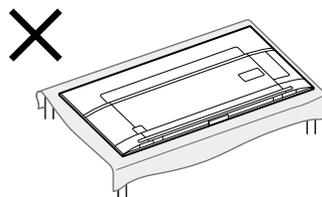
■ FW-75/65/55BZ35F



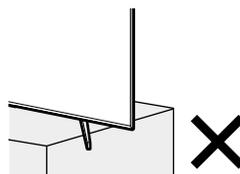
■ FW-49/43BZ35F



- 運ぶときには、衝撃を与えないようにしてください。落下や破損などにより、大けがの原因となります。
特に、液晶画面を押さえたり、強い力が加わるような持ちかたをしないでください。
- スタンドや壁掛けユニットの取り付け作業時に、モニター画面を下に向けて置かないでください。(FW-85/75/65/55BZ35Fのみ)



- 修理や引越しなどで本機を運ぶ場合は、お買い上げ時に本機が入っていた箱と、クッション材を使ってください。
- 本機を寒いところから急に暖かいところに持ち込んだときや、湿気の多い場所や暖房を入れたばかりの部屋などでは、機器表面や内部に水滴がつくことがあります。これを結露といいます。結露が起きたときは、本機の電源を切り、結露がなくなるまで放置してからご使用ください。
- モニター台からはみ出さないように設置してください。スタンド設置時には、おさまが近づかないようにご注意ください。



- 壁掛けユニットにモニターを長期間取り付けてご使用されたときは、壁の材質によっては、モニターの放熱により、背面や上面にあたる壁面が変色したり、壁紙がはがれたりすることがあります。
- 壁掛けユニットをいったん取り付けると、外した場合に、壁にネジ穴の跡や壁掛けユニットの取り付け跡が残ります。
- 壁に取り付ける場合、機械的振動の多い場所には設置しないでください。

液晶画面について

- 液晶画面を太陽にむけたままにすると、液晶画面を傷めてしまいます。
- 液晶画面を強く押ししたり、ひっかいたり、上に物を置いたりしないでください。画面にムラが出たり、液晶パネルの故障の原因になります。
- 寒い所で使用になると、画像が尾を引いて見えたり、画面が暗く見えたりすることがありますが、故障ではありません。温度が上がると元に戻ります。
- 静止画を継続的に表示した場合、残像を生じることがありますが、時間の経過とともに元に戻ります。
- 使用中に画面やキャビネットがあたたかくなることがありますが、故障ではありません。
- 長時間使用したあとに液晶画面の外周を触ると、熱く感じる場合があります。
- 画面上に赤や青、緑の点(輝点)が消えなかったり、黒い点(減点)が表れたりしますが、故障ではありません。液晶画面は非常に精密な技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、ごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素があります。

電源コードが同梱されている機種について

同梱されている電源コードはその機種専用のものです。他の機器では使用しないでください。

ACパワーアダプターについて (FW-49/43BZ35Fのみ)

長時間使用した場合、ACパワーアダプターを触ると熱く感じる場合がありますが、故障ではありません。

LAN端子に接続する機器について

電気通信事業法に基づく認定品に接続してください。

無線の周波数について

本機の使用上の注意事項

本機の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)ならびにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

- 1 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- 2 万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止した上、裏表紙に記載のプラビア法人サポートデスクにお問い合わせいただき、混信回避のための処理など(たとえばパーティションの設置など)についてご相談ください。
- 3 その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して、有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、裏表紙に記載のプラビア法人サポートデスクにお問い合わせください。

2.4DS/OF4

この表示のある無線機器は2.4 GHz帯を使用しています。
変調方式としてDS-SS方式およびOFDM方式を採用し、与干渉距離は40 mです。

2.4FH/XX8

この無線機器は2.4 GHz帯を使用します。
変調方式としてFH-SS変調方式およびその他の方式を採用し、与干渉距離は80 mです。

電波法に基づく認証について

本機内蔵の無線装置は、電波法に基づく小電力データ通信の無線設備として認証を受けています。証明表示は無線設備上に表示されています。従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。

ただし、以下の事項を行うと法律で罰せられることがあります。使用上の注意に反した機器の利用に起因して電波法に抵触する問題が発生した場合、弊社ではこれによって生じたあらゆる損害に対する責任を負いかねます。

- 本機内蔵の無線装置を分解／改造すること。
- 本機内蔵の無線装置に貼られている証明ラベルを剥がすこと。

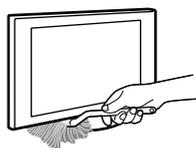
メモリーに保存されるデータについて

- 本機のメモリーには、各種機能の設定時にIPアドレス、ブックマークなどが、また、ご使用にあたってメールなどが記録されます。
- 本機を廃棄、譲渡などする場合には、本機のメモリーに記録されているデータを消去することを強くおすすめします。データを消去するにはHOMEボタンを押して、[設定]－[ストレージとリセット]－[データの初期化]－[すべて消去]を選びます。ネットワークサービスをご利用の場合はログアウト処理も行ってください。消去によりアカウントやパスワードなどが消えてしまうサービスもあります。消去前に記録しておいてください。
- 本機の不具合・修理など、何らかの原因で、本機のメモリーに保存されたデータが破損・消滅した場合など、いかなる場合においても記録内容の補償およびそれに付随するあらゆる損害について、当社は一切責任を負いかねます。また、いかなる場合においても、当社にて記録内容の修復はいたしません。あらかじめご了承ください。

お手入れ

誤ったお手入れをした場合、モニターを傷つけたり、故障の原因にもなりますので、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、次のことを必ずお守りください。

- 本機に直接水や洗剤をかけないでください。吹きかけた水や洗剤が画面下部や外装部にたれて本機が故障する場合があります。
- 汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤などに布を浸して固く絞ってふき取り、最後に乾いた布で軽くふいてください。
- モニターの下は柄つきのモップなどを使用してください。狭いので手を入れて掃除しないでください。
- 軽い汚れをふき取るときは、めがね拭きなどの乾いた柔らかい布でそっとふき取ってください。
- 市販の化学ぞうきんやクリーニングクロスなどは、販売元に確認してから使用してください。
- 印刷面は乾いた柔らかい布で丁寧にふいてください。爪などでひっかくと、印刷面が傷つくことがあります。
- 液晶の画面は特殊加工がされていますので、なるべく画面に触れないようにしてください。



以下のことは行なわない

- 殺虫剤やシンナー、ベンジンのような揮発性のもの、クレンザーのような研磨剤は使わないでください。変質したり、塗装がはげたりすることがあります。
- ふき取るときの圧力で、液晶配列が崩れて、汚れのように見えることがあります。これは、電源を入れ直すと元に戻ります。
- 画面の汚れをふき取るときは、スピーカー部を持ったり、画面に圧力をかけたりしないでください。
- ゴムやビニール製品に長時間接触させないでください。変質したり、塗装がはげたりすることがあります。
- 市販の液晶パネル用保護フィルターなどは使わないでください。
- ハンドクリーム、日焼け止めクリームなどが手に付いた状態で本機に触らないでください。変色、変形の原因になります。



再設置

再設置するには

再設置のしかたは、組み立て／設置ガイド(別紙)をご覧ください。
組み立て／設置ガイドはWebサイトからダウンロードすることもできます。

モニターを壁に取り付けて使う

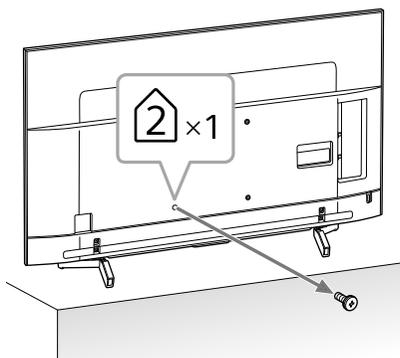
モニターの機種によって、お使いいただける別売の壁掛けユニットの型名が異なります。「主な仕様」(37ページ)をご覧ください。お持ちのモニターに対応している壁掛けユニットをお使いください。
壁に取り付ける場合は、必ず指定の壁掛けユニットを使用し、専門業者に取り付けを依頼してください。
また、取り付け時には設置関係者以外近づかないでください。
専門業者以外の方が取り付けたり、壁への取り付けが不適切だと、モニターが落下したりして、打撲や骨折など大けがの原因となることがあります。

壁掛けユニットを取り付けるには、モニターに取り付けたスタンドを外し、壁の取り付け位置の確認をしたり、モニターに必要な部品を取り付ける必要があります。
詳しくは、壁掛けユニットSU-WL450/SU-WL500(別売)取付方法をご覧ください。

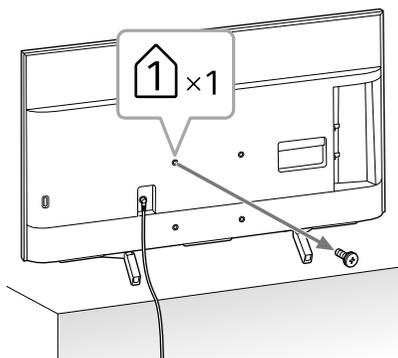
転倒防止用ベルトを取り付ける

1 モニター背面のネジを外す。

■ FW-85/75/65/55BZ35F

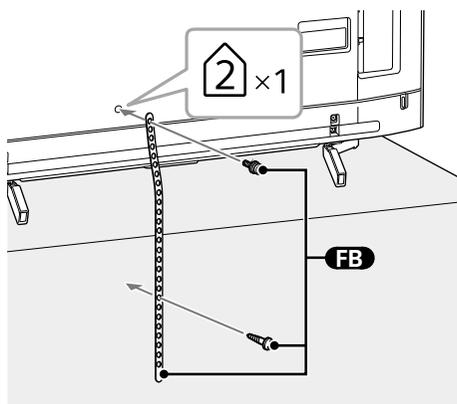


■ FW-49/43BZ35F

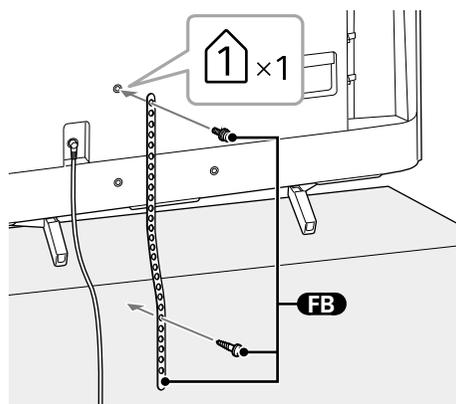


2 転倒防止用ベルトを取り付ける。

■ FW-85/75/65/55BZ35F



■ FW-49/43BZ35F



ヒント

- 付属の木ネジが使えない場合や、強度が不十分な場合は、お買い上げ店や工事店にご相談のうえ、市販のネジ(直径4 mm)をお使いください。

主な仕様

システム

パネルシステム

LCDパネル、LEDバックライト

使用スピーカー

FW-85/75BZ35F : フルレンジ25 × 120 mm (2)

FW-65/55BZ35F : フルレンジ25 × 90 mm (2)

FW-49/43BZ35F : フルレンジ30 × 80 mm (2)

音声出力(実用最大出力)

10 W+10 W

無線技術

プロトコル IEEE802.11b/g/n
Bluetooth Version 4.1

入出力端子

AV入力端子

(コンポーネントのYピンジャックと共通)

コンポーネント入力端子

映像 : ピンジャック

音声 : ピンジャック、2チャンネル

HDMI1 ~ 4入力端子(4K対応、HDCP 2.3対応)

映像 : 480i、480p、720p (30、60 Hz)、720/24p、1080i (60 Hz)、1080p (30、60 Hz)、1080/24p、3840×2160p (24、30、60 Hz) *1、4096×2160p (24、60 Hz) *1 *2、PCフォーマット

*1 より高精彩なHDMIフォーマット(4K 60p 4:4:4、4:2:2、または4K 60p 4:2:0 10ビットなど)での映像表示は、HDMI2/3入力のみ対応しています。

*2 4096×2160p入力で[ワイド切替]が[ノーマル]に設定されている場合は、3840×2160pで表示されます。4096×2160pで表示するには、[ワイド切替]を[フル1]または[フル2]に設定してください。

音声 : 5.1チャンネル リニアPCM

32/44.1/48/88.2/96/176.4/192 kHz

16/20/24ビット、ドルビーデジタル、ドルビーデジタルプラス、DTS

Audio Return Channel (ARC) 対応

(HDMI3入力のみ) (2チャンネル リニアPCM (48 kHz 16ビット)、ドルビーデジタル、ドルビーデジタルプラス、DTS

音声出力端子(ヘッドホン端子兼用)

ステレオミニジャック(サブウーファー対応)

光デジタル音声出力端子

角型端子、2チャンネル リニアPCM (48 kHz 16ビット)、ドルビーデジタル、DTS

HDMI1音声入力端子

アナログ音声入力(ステレオミニジャック)

LAN (10/100)端子

10BASE-T/100BASE-TXコネクタ (ネットワークの使用環境により、接続速度に差が生じることがあります。本機は10BASE-T/100BASE-TXの通信速度や通信品質を保証するものではありません。)

USB端子

● (USB1/2)

SS (USB3)

コントロール端子

RS-232C、ミニジャック

電源部、その他

動作温度

0 °C ~ 40 °C

動作湿度

10% ~ 80% (結露なきこと)

消費電力

FW-85BZ35F : 378 W

FW-75BZ35F : 250 W

FW-65BZ35F : 196 W

FW-55BZ35F : 170 W

FW-49BZ35F : 145 W

FW-43BZ35F : 120 W

消費電力(リモコン待機時)

0.5 W (データ取得時、ネットワーク接続時を除く)

パネル解像度

3840×2160 (画素 : 水平×垂直)

有効画面サイズ*3 (幅・高さ・対角)

FW-85BZ35F : 187.2 · 105.3 · 214.8 cm

FW-75BZ35F : 165.0 · 92.8 · 189.3 cm

FW-65BZ35F : 142.8 · 80.4 · 163.9 cm

FW-55BZ35F : 121.0 · 68.0 · 138.8 cm

FW-49BZ35F : 107.4 · 60.4 · 123.2 cm

FW-43BZ35F : 94.1 · 52.9 · 108.0 cm

視野角(左右/上下)

178/178度 (JEITA規格準拠コントラスト比 10:1)

最大外形寸法*3

(最大突起部分を除く)(幅×高さ×奥行き)

FW-85BZ35F : 191.1×109.8×7.3 cm、

191.1×117.6×42.9 cm (スタンド含む)

FW-75BZ35F : 167.3×96.3×5.4 cm、

167.3×103.1×37.1 cm (スタンド含む)

FW-65BZ35F : 145.0×83.6×5.2 cm、

145.0×90.0×31.5 cm (スタンド含む)

FW-55BZ35F : 123.1×71.3×5.2 cm、

123.1×77.6×31.5 cm (スタンド含む)

FW-49BZ35F : 109.8×64.4×5.8 cm、

109.8×70.3×27.9 cm (スタンド含む)

FW-43BZ35F : 96.5×56.9×5.8 cm、

96.5×62.8×27.9 cm (スタンド含む)

質量*3

FW-85BZ35F : 44.1 kg、46.2 kg (スタンド含む)

FW-75BZ35F : 38.9 kg、40.1 kg (スタンド含む)

FW-65BZ35F : 25.6 kg、26.5 kg (スタンド含む)

FW-55BZ35F : 19.1 kg、20.0 kg (スタンド含む)

FW-49BZ35F : 13.2 kg、13.7 kg (スタンド含む)

FW-43BZ35F : 10.8 kg、11.3 kg (スタンド含む)

電源

FW-85/75/65/55BZ35F : AC 100 V、50/60 Hz

FW-49/43BZ35F : DC 19.5 V (ACアダプター使用)、AC 100 V、50/60 Hz

定格出力

USB 1/2

DC 5 V、500 mA MAX

USB 3

DC 5 V、900 mA MAX

*3 有効画面サイズおよび最大外形寸法と質量は、おおよその値です。

別売アクセサリ

壁掛けユニット :

SU-WL500 (FW-85/75BZ35Fのみ)

SU-WL450 (FW-65/55/49/43BZ35Fのみ)

- 受信機型サイズ(85V、75V、65V、55V、49V、43V)は、有効画面の対角寸法を基準とした大きさの目安です。
- 仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。
- 「JIS C 61000-3-2適合品」です。JIS C 61000-3-2適合品とは、日本工業規格「電磁両立性-第3-2部 : 限度値-高調波電流発生限度値(1相当たりの入力電流が20 A以下の機器)」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。

区分名と年間消費電力量について

- 区分名
「エネルギーの使用の合理化に関する法律(省エネ法)」では、モニターに使用される画素数、表示素子、動画表示及び付加機能の有無等に基づいた区分を行なっています。その区分名称を言います。
- 年間消費電力量
省エネ法に基づいて、一般家庭での1日の平均視聴時間(4.5時間)を基準に算出した、1年間に使用する電力量です。

商標、ライセンス

- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー、Dolby Audio及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- HDMI、High-Definition Multimedia Interface、およびHDMIロゴは、米国およびその他の国におけるHDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または、登録商標です。
- Vewd® Core. Copyright 1995-2017 Vewd Software AS. All rights reserved.
- Wi-Fi®、Wi-Fi Alliance®、Wi-Fi Direct® およびMiracast® は、Wi-Fi Allianceの登録商標です。
- Wi-Fi Protected Setup™は、Wi-Fi Allianceの商標です。
- Wi-Fi CERTIFIED™ ロゴは、Wi-Fi Allianceの認証マークです。
- Bluetooth® のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、ソニー株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他の商標および商号は、それぞれの所有者に帰属します。
- BRAVIA、ブラビア及びBRAVIA ロゴはソニー株式会社の登録商標です。ブラビアリンク及びBRAVIA Linkはソニー株式会社の商標です。
- For DTS patents, see <http://patents.dts.com>. Manufactured under license from DTS, Inc. DTS, the Symbol, & DTS and the Symbol together are registered trademarks, and DTS Digital Surround is a trademark of DTS, Inc. © DTS, Inc. All Rights Reserved.
- USB-IF SuperSpeed USB Tridentロゴ  はUSB Implementers Forum, Inc.の登録商標です。
- TUXERA is a registered trademark of Tuxera Inc. in the US and other countries.
- Google、Android TV、Google Play、Chromecast built-in、YouTube、その他の関連マークおよびロゴは、Google LLCの商標です。
- AOSS™は株式会社バッファローの商標です。



*画素数：3840×2160



ソフトウェアに関する重要なお知らせ

ソフトウェア使用許諾契約書

この度は弊社製品(以下「本製品」とします)をお買い上げいただきありがとうございます。本製品の使用を開始される前に必ず、このソフトウェア使用許諾契約書(以下「本契約」とします)をお読みください。お客様による本製品の使用開始をもって、お客様が本契約の内容をご確認の上、同内容にご同意いただいたものとさせていただきます。

万一、本契約および弊社のプライバシーポリシーの条件にご同意いただけない場合、許諾ソフトウェア(以下に定義します)の使用およびコンテンツサービス(以下に定義します)にアクセスすることはできません。その場合には、直ちに、許諾ソフトウェアおよび本製品の返品および代金の返金の手続について弊社にご連絡ください。なお、本契約および弊社のプライバシーポリシー (<https://www.sony.jp/privacy/>)の条件は弊社の判断により適宜変更されることがあります。

本契約は、お客様(以下「使用者」とします)と弊社(以下「ソニー」とします)との間における本製品に含まれるソフトウェア(但し、後述の「除外ソフトウェア」を除きます)の使用許諾に関する条件について規定するものです。また、本契約は、本製品に含まれる除外ソフトウェア以外のソフトウェア(本製品に含まれる弊社が許諾を受けている第三者のソフトウェアを含みます。なお、当該第三者を以下「原権利者」とします)のみならず、同梱の印刷物およびオンラインで提供される情報をも対象としています(以下あわせて「許諾ソフトウェア」とします)。

本製品は、弊社以外のソニー関連会社を含む第三者コンテンツプロバイダー(以下「第三者プロバイダー」とします)により提供される一定のコンテンツサービス(以下「コンテンツサービス」とします)へのアクセスを可能にするSony Entertainment Network機能を搭載しています。また、Sony Entertainment Network機能は、弊社が提供する一定のコンテンツサービス(以下「弊社コンテンツサービス」とします)にアクセスする機能を有しています。かかる弊社コンテンツサービスとそのサービスを通じて提供されるコンテンツ(以下「弊社コンテンツ」とします)は、いずれも許諾ソフトウェアの一部とみなし、本契約の適用を受けるものとします。なお、Sony Entertainment Network機能を利用するためには、インターネットへの接続環境が必要です。また、Sony Entertainment Network機能を通じてのコンテンツサービスへのアクセスやそのサービスの質は、使用者が利用しているインターネットサービスプロバイダーから提供される接続環境(接続速度を含みます)に依存します。さらに、画質および利用できる画像のサイズ等も、使用者のインターネット接続環境および第三者プロバイダーによるコンテンツサービスの配信環境により変わります。第三者プロバイダーにより提供される音楽、音声、写真、画像、映像等、ソフトウェア、文書、テキスト、動画、メッセージ、タグその他のデータを含むコンテンツ(以下「コンテンツ」とします)およびコンテンツサービスは、当該第三者プロバイダーの判断により提供されるものです。また、これらのコンテンツおよびコンテンツサービスについては、第三者プロバイダーが使用者に提示する条件に基づいて提供されます。なお、高品質なコンテンツについては、追加の費用や使用者の登録が必要になるケースもありますので予めご了承ください。これらのコンテンツサービスおよび

コンテンツは、使用者の個人的な目的において私的利用の範囲内でのみ利用されるものであり、レンタル、入場料・視聴料を伴う場所における上映その他公共の場での放映を目的に使用されることは禁止されています。コンテンツサービスおよびコンテンツの内容は適宜変更される可能性があり、また、コンテンツサービスそのものが終了される可能性もありますので予めご了承ください。

本製品を利用した弊社コンテンツおよびコンテンツサービス等へのアクセスは、インターネット接続環境を必要とし、当該インターネット接続環境のために必要な第三者への支払い(インターネットサービス事業者への支払いを含みますが、これらに限られません)については使用者が自ら責任を負うものとします。弊社コンテンツおよびコンテンツサービスの利用、動作、品質は、使用者が用いるインターネットサービスの性能、回線容量その他の技術的な制限により限定されます。弊社は、インターネットサービス事業者を含む第三者から提供される当該インターネット接続環境についての責任を一切負わないものとします。当該インターネット接続環境の条件、品質、性能、回線容量、安全性その他提供されるサービスの内容については、当該第三者が責任を負うものとします。

許諾ソフトウェアおよびコンテンツサービスを通じて、弊社および第三者プロバイダーを含む第三者が本製品もしくは許諾ソフトウェアに付随して動作するその他の機器から情報を収集し、または、本製品もしくはこれらの機器の動作を制御もしくは監視することがありますので、その旨ご了承ください。

許諾ソフトウェアの使用許諾

使用者は、許諾ソフトウェアを本契約にて明示的に認められた範囲を除き使用することはできません。許諾ソフトウェアは、本契約に基づいて許諾されますが、使用者に譲渡されるものではありません。許諾ソフトウェアは、本製品上においてのみ使用可能です。また、許諾ソフトウェアは、データファイルを自動的に作成することがあり、かかるデータファイルは許諾ソフトウェアの一部とみなします。使用者は、弊社の同意なく、許諾ソフトウェアの一部を許諾ソフトウェアから分離して使用してはならないものとします。また、許諾ソフトウェアの一部または全部の修正、リバースエンジニアリング、逆コンパイルおよび逆アセンブルを行ってはならないものとし、本契約にて許諾された目的においてのみ使用するものとします。さらに、使用者は、許諾ソフトウェアを貸与またはリースしてはならないものとします。なお、使用者は、本製品の売却または譲渡に伴い、許諾ソフトウェアの一切(全ての複製、構成部分、媒体、印刷物および本ソフトウェアのあらゆるバージョンならびにそのアップデートならびに本契約)を譲渡し、かつ、譲受人が本契約の全条項に同意することを条件とし、本契約上の権利を第三者に譲渡することができるものとします。弊社および原権利者は、本契約上、使用者に許諾されていない全ての権利を留保します。許諾ソフトウェアがその動作にあたって使用するソフトウェア、サービスその他の製品の提供が、提供者(第三者プロバイダーを含む)または弊社の判断により中断または終了されることがあります。

除外ソフトウェア

上記使用許諾にもかかわらず、本製品には、本契約とは別のソフトウェア使用条件に従っていただくものも含まれます(以下「除外ソフトウェア」とします)。除外ソフトウェアの中には、「Open Source Initiative」によりオープンソースライセンスと認定されたソフトウェアライセンス、またはそれに代わる類似のソフトウェアライセンス(当該ライセンスのもとでライセンスされたソフトウェアの頒布条件

として、頒布者に当該ソフトウェアのソースコードを利用可能にすることを求めるものを含みますが、これに限られません)の適用を受けるものもあります(そうしたものを以下「オープンソースコンポーネント」とします)。オープンソースコンポーネントに適用される条件は、本契約とともに提供されるか、本製品の「設定」内の「端末情報」から「法的情報」をお選びいただくこととさせていただきます。

オープンソースコンポーネントについては、それに適用されるライセンスの条件が、当該ライセンスにて求められる限度において、本契約の条件に代わって適用されるものとします。本契約中の制約のいずれかが、オープンソースコンポーネントに適用されるライセンスにより禁じられている場合には、その限度において、当該制約は当該オープンソースコンポーネントには適用されないものとします。オープンソースコンポーネントに適用されるライセンスにて当社が求められる限度において、当社は許諾ソフトウェアに関するソースコードを提供いたします。

ユーザーアカウント

コンテンツサービスおよびコンテンツへのアクセスならびにそれらの閲覧および使用にあたり、第三者プロバイダーその他第三者が使用者に対して、使用者の情報に基づくユーザーアカウント(以下「アカウント」とします)の作成を求められる場合があります。また、その情報を正確にかつ完全に適時、更新することを求める場合があります。使用者は、アカウントに関するパスワードの機密性の維持について自ら責任を負うものとします。

情報の収集

第三者プロバイダーが提供するコンテンツサービスを通じて、第三者プロバイダーが使用者または当該コンテンツサービスの利用に関して情報を収集することがありますので、その旨ご了承ください。弊社は、かかる情報の収集につき責任を負うものではなく、かつ、かかる情報の収集をコントロールすることはできません。当該コンテンツサービスについてのプライバシーポリシーを事前にご確認ください。

使用者が提供した情報の利用

使用者が弊社に対して提供するあらゆる情報(あらゆるコメント、データ、質問、回答、提案その他これに準ずるものを含みますがこれらに限りません。また、提供の方法を含みません。以下「提供情報」とします)は、全て秘密情報や使用者に帰属する情報ではないものとして弊社は取り扱います。よって、弊社による提供情報の利用は、使用者のいかなる権利(著作権、著作者人格権、プライバシー、所有権、公表権その他の権利を含みますがこれらに限りません)に対する弊社による侵害とみなされないものとします。あらゆる提供情報は、弊社により地域の限定なく使用される可能性があります(翻案・放映・修正・複製・開示・第三者への許諾・上演・公表・出版・販売・送信などを含みますがこれらに限りません)。さらに、使用者は、提供情報についてのあらゆる権利および便益を弊社に譲渡し、弊社は使用者に一切の対価を支払うことなく、提供情報および提供情報に含まれるアイデア、ノウハウ、コンセプト、技術その他の知的財産権を自由に使用することができるものとします。なお、これらの権利は、弊社がそれらの提供情報およびそれらに含まれる知的財産権を使用する義務を負うものではありません。

情報の送信

インターネット上の送信に関する機密性および安全性は、完全に保証されたものではありません。使用者が送信するあらゆる情報については、暗号化などの技術を使っている旨の特定の表示がない限り、第三者により読み取られるまたは傍受されている

または公共のために、配布、交換、修正、販売または送信を行うことはできません。本契約に定める条件を遵守する限りにおいて、弊社は、使用者に対して、コンテンツサービスやコンテンツにアクセスするためにSony Entertainment Network機能を使用する非独占的かつ譲渡不能な限定的ライセンスを付与します。また、使用者は、許諾ソフトウェア、コンテンツサービスおよびコンテンツの動作を中断、停止させたり、そのような試みをすることはできません。

万、使用者の作品が著作権侵害を構成するようなかたちで複製されていると思われる場合、または使用者の知的財産権が何らかの形で侵害されていると思われる場合は、まず、第三者プロバイダーに対して対応をご相談ください。万、使用者が第三者プロバイダーと連絡が取れない場合、もしくは、侵害のおそれがあるコンテンツが弊社のものである場合、ブラバ法人サポートデスクまでご連絡ください。

第三者に対する責任

以下のいずれかに関連してまたは起因して、使用者または弊社、弊社役員・従業員その他関係者（以下「補償対象者」とします）と第三者との間で紛争が生じた場合、使用者は、使用者自身の費用でそれらの紛争を解決するものとし、補償対象者に対して一切の迷惑をかけないものとし、

- ①使用者による本契約違反または違反のおそれ、
- ②使用者から弊社に対して本契約に基づいて提供された情報、
- ③使用者による第三者の権利侵害またはそのおそれ、
- ④使用者による許諾ソフトウェア、コンテンツサービスまたはコンテンツの損傷、毀損、

使用者は、解決のために代理人を選定し、使用者、弊社または補償対象者を代理せしめる場合は、弊社、その他の関連する補償対象者の同意を得るものとし、使用者およびその代理人は、補償対象者と協議の上、当該紛争を解決するものとし、弊社および補償対象者は、上記の補償を受けることを前提に、自らの費用で、当該紛争を解決する権利を留保します。使用者は、弊社および補償対象者の書面による事前の同意なく、弊社および補償対象者の不利益になるような判断、和解その他一切の活動を行うことはできません。

自動アップデート機能ならびに本契約の改定

許諾ソフトウェアは、適宜、例えばバグの修正、機能の改善、セキュリティ機能の許可などを目的に、弊社または第三者によりアップデートまたは修正されます。これらのアップデートまたは修正により、使用者が使用している許諾ソフトウェアの機能が変更されたり、一部が削除されたりする可能性もあります。また、これらのアップデートまたは修正は弊社の判断により行われ、当該アップデートまたは修正の適用を許諾ソフトウェアの継続的な使用の条件にすることもあります。なお、許諾ソフトウェア、コンテンツサービスまたはコンテンツに適用される本契約の条件についても弊社により一部変更、修正または削除される可能性がありますが、いずれの場合においても事前に使用者に通知されます。当該通知以降の使用者によるコンテンツサービスまたはコンテンツへのアクセスをもって、使用者による当該変更、修正または削除された本契約に同意いただけたものとさせていただきます。弊社は、一切の通知なくコンテンツサービスの全てまたは一部を一時的にまたは恒久的に変更、中止、削除または停止することがあります。弊社は、法律の許容する範囲内において、かかる変更、中止、削除または停止につき、使用者に対して一切の責任を負いません。また、使用者が本契約の条件に違反した場合、その他の権利を一切放棄することなく、弊社は、コンテンツサービスまたはコンテンツに関する本契約の条項を中止または終了させる

ことができます。使用者が本契約の条項に違反していると弊社が判断した場合、弊社は、本契約の履行を強制するまたは不履行を是正するためのあらゆる法的または技術的な対策（使用者によるコンテンツサービスへのアクセスの即時停止）をとることができます。

高リスク活動

許諾ソフトウェアは、耐障害性を持ち合わせておらず、また、許諾ソフトウェアの欠陥や誤動作が、身体、生命、個人の財産その他物理的または環境的な損害をもたらすような環境での使用を想定しておらず、そのように設計、製造されていません。弊社、原権利者ならびにそれらの関係者は、特にこれらの環境における許諾ソフトウェアの有効性について明示・暗示を問わず一切保証いたしません。

暗号化技術の輸出に関する規制

許諾ソフトウェアおよびコンテンツは、暗号化技術を含んでいる可能性があります。暗号化技術を含む許諾ソフトウェアおよびコンテンツは、輸出入に関する法令、規制または政府による許可・認可の対象となる可能性があり、使用者は、本製品、許諾ソフトウェアおよびコンテンツに適用のある法令、規制その他の規則及び国際条約を遵守する責任を負います。なお、暗号化技術を含む許諾ソフトウェアおよびコンテンツは、外国政府または政府関係機関による使用を意図していません。

完全合意条項、通知、放棄その他

本契約、本製品に関する限定的な保証、弊社のプライバシーポリシーおよびコンテンツサービスに関して提供された追加の利用条件は、本製品、許諾ソフトウェア、コンテンツサービスおよびコンテンツに関する使用者と弊社間の完全なる合意であるものとし、弊社からの本契約に基づくあらゆる通知は、書簡、電子メールまたは弊社のコンテンツサービスを通じて行われます。弊社による本契約上の権利の不行使は、それらの権利を放棄したものとみなされないものとし、万、本契約の一部が法律により無効となった場合でも、当該条項は本契約の本旨に鑑みて法律により許容される範囲内で強制されるものとし、当該条項以外は有効に存続するものとし、本契約に定めのない事項または本契約の解釈に疑義を生じた場合には、弊社および使用者は誠意をもって協議し、解決するものとし、

第三受益者

原権利者および第三者プロバイダーは、本契約における第三受益者として取り扱われるものとし、本契約のソフトウェア、コンテンツサービスおよびコンテンツに関する条項は適宜、適切に当該第三者および第三者プロバイダーにより強制されるものとし、

期間

本契約は、次に従い解除されるまで有効なものとなります。弊社は、使用者が本契約に違反した場合、使用者に対する通知をもって、直ちに本契約を解除することができます。その場合、使用者は、速やかに許諾ソフトウェアをそれらの複製を含めて廃棄するものとし、また、解除にあたって、使用者は、弊社、原権利者、第三者プロバイダーに対して、許諾ソフトウェア、コンテンツサービスおよびコンテンツの使用ができなくなることを理由に費用の償還などを求めることはできないものとし、

準拠法、裁判管轄

本契約の準拠法は、日本国の法律とします。

ユーザー登録の抹消

使用者が、本契約に従って本製品を返品もしくは譲渡する場合、または本契約が終了した場合には、使用者は、①本製品を通じて取得またはアクセスした全てのアカウントを消去することによりユーザー登録を抹消し、②本製品を工場出荷時の状態に戻すものとします。使用者は、本製品を通じて取得したアカウント、ユーザーネーム、パスワードに関する情報の秘密保持について一切の責任を負うものとします。

GNU GPL/LGPL 適用ソフトウェアに関するお知らせ

本製品には、以下のGNU General Public License（以下「GPL」とします）またはGNU Lesser General Public License（以下「LGPL」とします）の適用を受けるソフトウェアが含まれております。これらのソースコードは、Web でご提供しております。ダウンロードする際には、以下のURL にアクセスしてください。

<http://oss.sony.net/Products/Linux/>

索引

別紙と記載されている用語については、組み立て／設置ガイド(別紙)をご覧ください。

あ行

アフターサービス	24
イルミネーションLED	5、21、22
インターネット	15
運搬	32
おすすめ設定	13
オプション	8
音質	12
音声切換	8

か行

画質	12
壁掛けユニット	35
画面表示	8
画面表示切換	8

さ行

再設置	35
字幕	8
字幕切換	8

た行

電池	別紙
転倒防止用ベルト	36、別紙
時計表示	8

な行

入力切換	8
ネットワーク	15

は行

プロキシサーバー	17
プロモード	9
ヘッドホン	7
ヘルプ	8
ホーム	8
ホームメニュー	8
保証書	24

ま行

無線LANルーター	16、17、23
無線接続	15
モデム	15

や行

有線接続	15
------	----

ら行

リモコン	8、22、28、別紙
リモコン受光部	23
ルーター	15、別紙

アルファベット

AOSSボタン	16
ARC	7
HOME	8
IPアドレス	17
LANケーブル	7、15、16、23
RC232C	18
SSID	16、17、23
Wi-Fi	15
WPSボタン	16

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などは
ホームページをご活用ください。

<https://www.sony.jp/support/>

ソニービジュアルプロダクツ株式会社 〒141-8610 東京都品川区大崎2-10-1

© 2018 Sony Visual Products Inc. Printed in China